

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 ヒーハイト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6433 URL <https://www.hephaist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	566	△20.2	△7	—	△0	—	△2	—
2022年3月期第1四半期	709	50.0	113	—	120	—	87	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6百万円(△93.4%) 2022年3月期第1四半期 92百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△0.43	—
2022年3月期第1四半期	14.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,847	3,222	66.5
2022年3月期	4,896	3,238	66.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,222百万円 2022年3月期 3,238百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,318	△5.8	33	△81.3	32	△81.6	24	△80.6	4.00
通期	2,707	△1.3	105	△53.7	104	△59.6	75	△65.7	12.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,316,700株	2022年3月期	6,316,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	53,984株	2022年3月期	53,984株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,262,716株	2022年3月期1Q	6,162,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響に改善が見られ、経済活動の制限が徐々に緩和されたものの、ウクライナ情勢等の地政学的リスクの影響による原材料価格及び物流費の高騰、円安基調による物価上昇傾向の為替動向など、引き続き不安定な状況が続く事が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れ、継続的に現場改善等に取り組んで参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は566,257千円（前年同四半期比20.2%減）となりました。

利益面につきましては、主力製品であります直動機器のスマート生産体制の確立に注力し、生産設備投資を継続して生産の増強を図り、効率的な生産を行い原価低減を推し進め、利益確保に努めて参りましたが、売上高の減少、新規設備投資による減価償却費及び購入品等の製造原価の上昇により、営業損失7,974千円（前年同四半期は、営業利益113,151千円）、経常損失637千円（前年同四半期は、経常利益120,266千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2,690千円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益87,895千円）となりました。

直動機器につきましては、半導体業界を中心に市場からの引き合いがあるものの、中国ロックダウンによる物流が停滞した事等に影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は398,158千円と前年同四半期と比べ36,838千円の減少（前年同四半期比8.5%減）となりましたが、直動機器の増産のために「無人工場棟」を当社埼玉工場敷地内に建設することを決定するなど、将来の製品供給に支障がないように生産設備投資を継続し生産の増強を図っております。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に売上が減少した事から、売上高は128,848千円と前年同四半期と比べ95,553千円の減少（前年同四半期比42.6%減）となりました。

ユニット製品につきましては、調達面での制約の影響を受け、販売計画の遅れもあり、売上高は39,251千円と前年同四半期と比べ11,003千円の減少（前年同四半期比21.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,847,047千円となり、前連結会計年度末と比べ49,934千円の減少となりました。主な要因は、棚卸資産76,717千円、機械装置及び運搬具139,366千円の増加に対し、現金及び預金250,548千円、売上債権37,181千円の減少によるものであります。

負債は、1,624,600千円となり、前連結会計年度末と比べ33,966千円の減少となりました。主な要因は、営業外電子記録債務54,453千円の増加に対し、未払法人税等67,610千円、電子記録債務17,019千円の減少によるものであります。

純資産は、3,222,447千円となり、前連結会計年度末と比べ15,967千円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金27,741千円の減少によるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	973,455	722,906
受取手形及び売掛金	351,036	371,271
電子記録債権	557,585	500,168
商品及び製品	172,915	186,292
仕掛品	344,074	379,074
原材料及び貯蔵品	259,115	287,455
その他	34,629	47,847
流動資産合計	2,692,812	2,495,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	509,929	506,310
機械装置及び運搬具(純額)	365,131	504,498
工具、器具及び備品(純額)	36,255	32,505
土地	908,966	908,966
リース資産(純額)	45,662	40,174
建設仮勘定	1,229	2,545
有形固定資産合計	1,867,174	1,995,000
無形固定資産	13,220	11,794
投資その他の資産		
保険積立金	202,545	224,777
繰延税金資産	112,683	112,973
その他	8,546	7,485
投資その他の資産合計	323,775	345,236
固定資産合計	2,204,169	2,352,031
資産合計	4,896,982	4,847,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	223,820	225,570
電子記録債務	315,274	298,254
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	23,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	87,292	89,636
リース債務	17,680	15,621
未払法人税等	75,921	8,311
賞与引当金	29,718	7,789
営業外電子記録債務	64,223	118,676
その他	169,384	216,635
流動負債合計	1,016,315	1,013,495
固定負債		
社債	61,000	49,500
長期借入金	301,787	277,353
リース債務	28,608	25,080
役員退職慰労引当金	151,406	154,594
退職給付に係る負債	92,250	96,777
その他	7,200	7,800
固定負債合計	642,251	611,105
負債合計	1,658,567	1,624,600
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	682,501
利益剰余金	1,824,343	1,796,602
自己株式	△15,416	△15,416
株主資本合計	3,220,991	3,196,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	△24
為替換算調整勘定	17,403	26,232
その他の包括利益累計額合計	17,422	26,207
純資産合計	3,238,414	3,222,447
負債純資産合計	4,896,982	4,847,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	709,653	566,257
売上原価	488,137	454,024
売上総利益	221,515	112,232
販売費及び一般管理費	108,364	120,207
営業利益又は営業損失(△)	113,151	△7,974
営業外収益		
受取利息	85	95
有価証券利息	344	—
受取手数料	875	881
廃材売却収入	254	753
保険解約返戻金	—	1,112
為替差益	10,319	5,351
その他	36	14
営業外収益合計	11,915	8,208
営業外費用		
支払利息	1,601	767
有価証券評価損	3,046	—
その他	152	104
営業外費用合計	4,800	871
経常利益又は経常損失(△)	120,266	△637
特別利益		
固定資産売却益	6	119
特別利益合計	6	119
特別損失		
固定資産除却損	196	159
特別損失合計	196	159
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,075	△677
法人税等	32,180	2,013
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,895	△2,690
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	87,895	△2,690

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,895	△2,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	△44
為替換算調整勘定	4,346	8,829
その他の包括利益合計	4,248	8,785
四半期包括利益	92,143	6,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,143	6,094



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。